

気づきの評価過程

子どもは仰向けになり、両手は身体の横に置きます。

感覚、
感情、
認知に気づく

フォーカス次元

座位、または立位で、子どもの身体を前後に揺らす。もしも、助けが必要であれば身体を動かしてあげること。子どもが座ることも立つこともできないときは、仰向けに寝た子どもの身体を視覚的に走査（スキャン）する。子どもが身体の前側（脚、胃、胸、顔）を感じているかどうか気づく（想像する）こと。子どもは床の上で自分の背中の中の重みに気づいているか？
意識されるのは、どの感覚かに気づく

センタリング次元

座位、または立位で、子どもの身体を上下に揺らす。もしも、助けが必要であれば身体を動かしてあげること。子どもが座ることも立つこともできないときは、仰向けに寝た子どもの身体を視覚的に走査（スキャン）する。子どもが頭からつま先まで、つま先から頭まで身体を感じる事ができるかどうか気づく（想像する）こと。
どちらかの方向の方がより感じ易いだろうか？
上半身と下半身の感じ方に違いがあるか？
意識されるのは、どの感情かに気づく

ラテラルリティ次元

座位、または立位で、子どもの身体を左右に揺らす。もしも、助けが必要であれば身体を動かしてあげること。子どもが座ることも立つこともできないときは、仰向けに寝た子どもの身体を視覚的に走査（スキャン）する。子どもが身体の両側のことを区別することができるかどうか気づく（想像する）こと。

子どもは両側を同じ、または違うと経験しているか？
意識されるのは、どの知識かに気づく

各次元の概念

フォーカス次元 感覚

センタリング次元 感情

ラテラルリティ次元 認知

